

2012年 2月 7日
東日本旅客鉄道株式会社
公益財団法人東日本鉄道文化財団

東北・上越新幹線開業30周年記念展の開催について

1982(昭和57)年6月23日に東北新幹線大宮～盛岡間が、また同年11月15日に上越新幹線大宮～新潟間が開業してから、今年で30周年を迎えます。これを記念して、鉄道博物館では、東北・上越新幹線開業30周年記念展を開催します。

東北・上越新幹線は、当初、大宮までの暫定開業だったことから、上野～大宮間で「新幹線リレー号」を運転し、「リレーガール」による乗り換えの案内を行いました。

また、新幹線の建設にあわせ、新交通システム(1983(昭和58)年12月に埼玉新都市交通「ニューシャトル」として開業)や並行する通勤新線(1985(昭和60)年9月に埼京線として開業)も建設されています。

これら新幹線開業当時のさまざまな出来事について、写真やパネル、記念品などを中心に展示を行います。展示を通じて、当時の熱気や期待感を感じていただければ幸いです。

- 会 期 2012年3月17日(土)～7月1日(日)
- 会 場 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー1
- 入 場 料 鉄道博物館の入館料のみで、記念展もご覧いただけます。
鉄道博物館の入館料は、一般1,000円(800円)、小中高生500円(400円)、幼児(3歳以上未就学児)200円(100円)です。
()内は、団体(20人以上)料金
- 主 催 鉄道博物館(公益財団法人東日本鉄道文化財団)
- 協 力 株式会社交通新聞社、埼玉新都市交通株式会社、東日本旅客鉄道株式会社
- 後 援 さいたま市
- 主な展示内容 別紙

主な展示内容

1 建設工事と車両開発

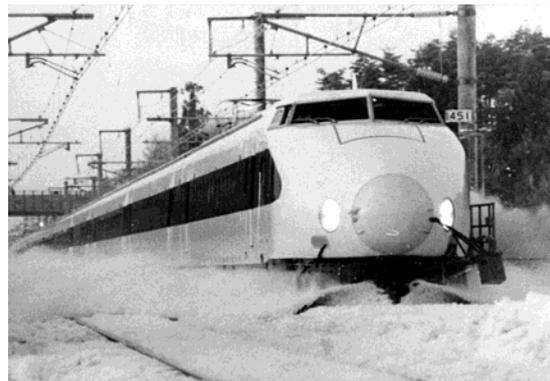
東北・上越新幹線は、全国新幹線鉄道整備法(1970(昭和45)年)の施行により建設が進められました。建設にあたり設けられた「ひかりは北へ」のキャッチフレーズは、新幹線開業への期待を高めると共に地域から歓迎を受けました。また、豪雪地帯を運行する新幹線として、入念な雪害対策を施した200系車両や、地上設備などの開発が行われました。この工事と開発についてご紹介します。

[展示資料]

建設工事の概要紹介パネル、200系車両の雪害対策映像展示など



東北新幹線建設「ひかりは北へ」



開業前の東北新幹線で行われた雪対策試験の様子(一ノ関付近)

2 開業までの道のり

上越新幹線中山トンネル(高崎～上毛高原間)の工事中、二度にわたり出水事故が発生したことによるルート変更や、沿線住民のご理解を得ながらの工事が進められました。また、新幹線とともに新交通システム(現在の埼玉新都市交通「ニューシャトル」)や通勤新線(現在の埼京線)の建設が行われました。この開業までの道のりをご紹介します。

[展示資料]

トンネル工事と通勤新線・新交通システム建設工事の概況紹介パネル



中山トンネル貫通式(高崎～上毛高原駅間)



新交通システムの建設(大宮駅付近)

3 大宮暫定開業と沿線の方々の期待

新幹線開業を待ちわびた東北地方や新潟県をはじめとした沿線の方々の期待、熱気にあふれる開業時の状況、開業前後で変貌する周辺の街、上野駅開業までの3年間にわたり上野～大宮間を結んだ「新幹線リレー号」や、開業に合わせて作成された記念品などをご紹介します。

[展示資料]

地元の期待感、熱気ある開業式典や建設工事と街の変貌を紹介するパネル



東北新幹線開業式典(盛岡駅)



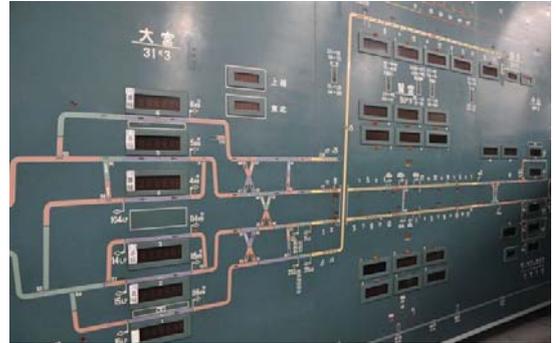
新幹線ホーム建設工事と西口周辺(大宮駅)

[展示資料]

新幹線リレー号の紹介パネル、新幹線CTC表示板とさまざまな記念品



新幹線リレー号とリレーガール(大宮駅)



新幹線CTC表示板



東北新幹線開業記念メダル



上越新幹線開業記念入場券(新潟駅)

4 会場



会場レイアウトイメージ